



四季彩

八景中学校だより
2021. 1. 5
第 11 号
三田市立八景中学校

本年もどうぞよろしく申し上げます

謹んで新春の祝詞を申し上げます
旧年中は新型コロナウイルスの影響の中
皆様より沢山のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます
皆様のご健康とご多幸を心からお祈り致します
本年もどうぞよろしくお願ひ致します



一年の計は元旦にあり

2学期の終業式の放送や学校だよりで、「新年の目標を持ってほしい」と伝えましたが、どうでしょうか。どんな自分になりたいか、成長するためのめあては思いつきましたか。

「計」とは、「計画を立てること」です。つまり、目標達成のためにどんな道筋を通っていくかを考えること。一年後の自分がどうなっていたいか。そのために3月末にどうなっていたらよいか。また、1か月後は。今週中に何をやったらよいかを考えてほしいのです。長期目標のために中期目標（中間点でどうなっていたらよいか）を設定し、短期目標（実現可能な目の前の課題）に取りかかろう。3年生は次のステージで、2年生は最高学年として、1年生は中学校の先輩として活躍するために。

もちろん一本道ではないでしょう。最短コースがよいのか、それとも「急がば回れ」がよいのかはわかりません。しかし、めざすゴールは変わらない。道に迷ったときは、周りの人に道を尋ねるのがいちばん。ぶれない気持ちとともに柔軟性を持って、「前へ！」

マナーアップ講座で好印象を！

12月21日、体育館に集まった3年生を対象に、講師を招いて「マナーアップ講座」を開催しました。受験の面接対策ということもありますが、義務教育を終え各自が選んだ次の社会に飛び込んでいくまでに、ぜひとも身につけておきたい所作や表情、話し方について、講話とともに実習を交えて学びました。30度の礼や45度の礼、歩き方、座り方や立ち方、



好印象を与える表情になる口角が自然と上がる言葉、質問の答え方など、大人になっても身につけておきたいことばかり。知識としては理解できたでしょう。あとは実践あるのみです。普段の生活の中で繰り返しやっていくことで、ぎこちない動きがなめらかになっていく。そして、自分のものになっていきます。わずか1時間の講座で激変した姿を本当の自分の姿にするためには、これからの取り組みが大切です。

快適な居場所のプレゼント

兵庫県立篠山産業高等学校機械工学科で学ぶ3年生の皆さん（うち2人は八景中の卒業生）が、自分たちで設計・制作したベンチを寄贈してくれました。9脚のうちの2脚は生徒玄関横の渡りろう下に設置し、残りはグラウンドで活動する部活動で使わせていただいています。ただ座るためのベンチをもらったのではなく、ほっとできる場所を提供してくれました。大切に使いながら、互いの親交を温める場所にしていきましょう。



学校評価 保護者アンケートについて

学校評価保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、学校での生徒の活動を見ていただく機会を十分に設けられておりません。そのために判断できない内容項目もありましたこと、お詫び申し上げます。そのような状況の中、14項目の評価をご回答いただいただけでなく、自由記述でも貴重なご提言をいただきました。早急な対応が必要なご提言については、ただちに検討していきます。また、多くの皆様から感謝のお言葉を頂きましたこと、もったいない思いでいっぱいです。今後の励みとし、生徒の健やかな成長により一層尽力していきます。

なお、保護者アンケートと生徒アンケートを丁寧に分析し、八景中学校をよりよくしていくために活かしていきます。分析結果については、2月以降に報告する予定です。

1月の詩

ひとつのことば

北原白秋

ひとつのことばで けんかして

ひとつのことばで かななり

ひとつのことばで 頭が下がり

ひとつのことばで 心が痛む

ひとつのことばで 楽しく笑い

ひとつのことばで 泣かされる

ひとつのことばは それぞれに

ひとつの心を持っている

きれいなことばは きれいな心

やさしいことばは やさしい心

ひとつのことばを 大切に

ひとつのことばを 美しく



この詩の作者は北原白秋です。2年の国語の教科書に白秋の短歌が載っています。この詩から感じてもらいたいのは、『ことばは心を持っている』ということ。前向きなことばやプラスのことばを発することはとても大切なことです。言霊（ことだま：古代日本で言葉に宿っていると信じられていた不思議な力 発した言葉どおりの結果を現すと信じられた）ということばがあります。自分に対しても相手や周りに対しても、どんなことばをかけるかを吟味して、すばらしい学年の仕上げに向かっていきましょう。

今日は3学期のスタートです。今学期が、「画竜点睛を欠く」とならないように、最後まで丁寧に取り組んでくれることを期待して、この詩を贈ります。